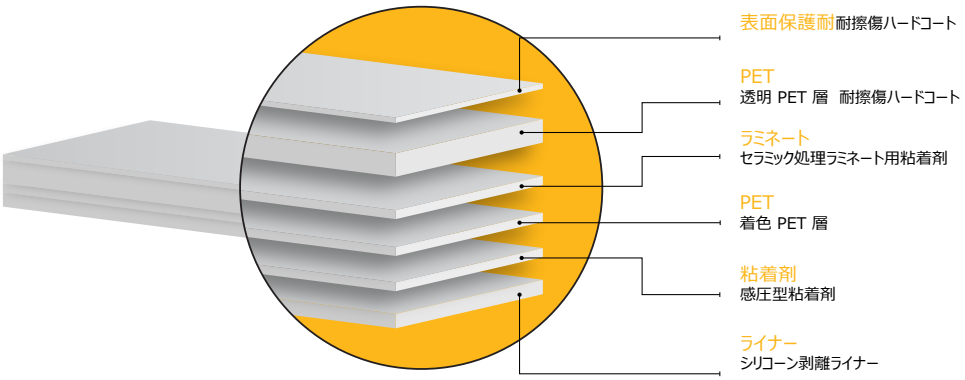
TECHNICAL DATA SHEET

XPEL PRIME™ XR ウインドウフィルム

PRIME™ XR は、金属由来の電波干渉を起こさずに、高い遮熱性能、優れた透明感、眩しさの低減、紫外線保護を実現するよう設計されたナノセラミックの自動車用ウィンドウフィルムです。PRIME™シリーズの中核となるプレミアムセラミックモデルに位置づけられています。

製品構成



一般特性

特性	定量単位	試験結果
総厚み	mil	1.5 ～2.0
可視光線透過率	%	5 ～ 78
可視光線反射率	%	6 ～ 9
総太陽エネルギー遮蔽率	%	42 ～ 66
IRER (780nm から2500nm)	%	55 ～ 64
太陽エネルギー透過率	%	11 ～ 45
太陽エネルギー反射率	%	6 ～ 8
太陽エネルギー吸収率	%	47～83
UV カット率	%	99
グレア低率	%	14 ～ 95
遮蔽係数	値	0.39 ～ 0.67
IR カット率（1025nm）	%	73 ～ 85

推奨保管期限 - 購入日から2 年間*
** 推奨保管期限を過ぎてフィルムを施工する場合、XPEL による再認証が必要です。

推奨保管条件
72°F (22°C) / 相対湿度50%
直射日光を避け、涼しく乾燥した場所で保管してください。使用するまでは元の梱包のまま保管してください。端部の損傷、汚れの付着、折れやシワを防ぐため、ロールは丁寧に取り扱ってください。

注意: 本技術データシートに記載された性能および適合性に関する内容は、あくまで目安として示したものです。製品を使用する具体的な条件は使用者のみが把握しているため、用途に対して当該製品が適しているかどうかの判断。

Phone: 042-703-3788 | Fax: 042-703-3766 | xpeljapan.com

品質保証

本製品は、安定した光学的な透明性、粘着性能、色の安定性、ならびに遮熱・遮光性能を確保するため、XPELの品質基準および試験手順に基づいて製造されています。

保管および取り扱い

清潔で乾燥した環境で保管し、高温多湿や直射日光への長時間の曝露は避けてください。芯が変形したりフィルム端部が損傷したりする恐れがあるため、ロールを無理に積み重ねないでください。保管環境と施工環境が大きく異なる場合は、使用前に施工環境へ十分になじませてください。

施工上の注意

最良の仕上がりを得るため、清潔で傷や欠けのない自動車用ガラスに、認定されたウィンドウフィルム施工手順で貼り付けてください。施工前に、地域の可視光線透過率および反射率に関する規制を確認してください。選択した濃さに合わせ、適切なスリップ溶液、スキージーの圧力、熱成形の方法を使用してください。

施工条件

推奨施工環境：直射日光を避けた、ほこりの少ない場所。気温は 68°F（20°C）～86°F（30°C）。窓の開閉、ガラス清掃、最終的な光学検査を行う前に、十分な乾燥時間を確保してください。

予備データ

データ注記：すべての性能データは、フィルムを 1/8 in.（3 mm）のガラスに貼付した状態で、LAMBDA 1050+ UV/Vis/NIR 分光光度計により取得しています。可視光および太陽エネルギーのデータは EN 410 の手法に基づいて報告しています。IR カット（赤外線遮蔽）データは 1025nm の単一波長で報告しています。赤外線エネルギー遮蔽（IRER）は 780nm～nm の範囲
で測定し、吸収および再放射される赤外線エネルギーを考慮しています。可視光、太陽エネルギー、UV カット、IR カットの各値における製品性能の許容差は +/- 3% です。製品厚みの数値は公称値であり、目安としてのみご利用ください。

注意：本技術データシートに記載された性能および用途適合性に関する内容は、あくまで目安として示すものです。製品を使用する具体的な条件は使用者のみが把握しているため、想定する用途に対して本製品が適しているかどうかの判断は、使用者の責任において行ってください。

Phone: 042-703-3788 | Fax: 042-703-3766 | xpeljapan.com